

令和元年度第10回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 令和2年1月22日（水） 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 副センター長）
大西 秀典（岐阜大学医学部附属病院 小児科 准教授）
澤田 明（岐阜大学医学部附属病院 眼科 講師）
石山 俊次（石山泌尿器科皮膚科）
オブザーバー: 加藤 いづみ（岐阜市保健所地域保健課 感染症対策係長）
事務局 : 居波 由紀子（保健医療課 主幹兼感染症対策係長）
中澤 千怜（保健医療課 技師）
田村 直彦（保健環境研究所 疫学情報部長）
岡 隆史（保健環境研究所 主任専門研究員）
酢谷 奈津（保健環境研究所 専門研究員）

4 議 題 （進行：澤田委員）

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) 情報提供すべき事項について
- (4) 情報提供（月番委員専門分野から）
- (5) その他

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○感染症発生動向調査週報の様式変更について

（保健環境研究所）

- ・当所で発行している感染症発生動向調査週報の様式を見直し、来年度から新様式にて運用を開始したいと考えており、現在内容について検討しているところである。
- ・変更を検討している点は主に次の3点。
 - ・現行1枚目に掲載している地図情報、定点疾患全疾患の3週分のグラフ等を削除。

- ・全数疾患について、対象疾患すべてを一覧とした表を掲載（現行ではその年に報告のあった疾患のみ）。また、新規報告患者の年齢群等の情報を記載する（現行では報告数のみ）。
- ・定点疾患のRSウイルス感染症について、抗原検査の保険適用範囲が限られていることがサーベイランスデータに影響を与え得るため、その旨のただし書きを付記する。

（委員からの意見）

- ・1ページ目は、現行の週報のように地図情報やグラフなど視覚に訴えて、注意したい感染症をお知らせするのがよいと思う。
- ・全数疾患について、対象疾患すべてを一覧にすると、毎回最初に一類感染症の空欄の表が載ること、四類感染症なども空欄部分が多くなることなどから、スペース的な無駄が生じ、注目すべき情報もわかりにくくなるのではないか。
- ・患者背景を記載することはよいと思う。結核や百日咳の年齢情報はあるとよいと感じる。
- ・RSウイルス感染症のただし書きはよいと思う。

（保健環境研究所）

- ・ご意見を参考に再度検討しなおし、来年度の運用開始を目指したい。

【情報提供すべき事項について】

（澤田委員）

- ・渡航者感染症（新型コロナウイルス）について
（保健医療課）
- ・現在、国からの情報が日々更新されている状況であり、新たな情報があるごとに関係機関や県民に情報共有を行っていく。

【保健医療課から情報提供】

（事務局・保健医療課）

- ・厚生労働省からの感染症関連通知、お知らせ等情報提供。